



2024年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）



2023年6月30日

上場会社名 DCMホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3050 URL <https://www.dcm-hldgs.co.jp/grp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 兼 C O O (氏名) 石黒 靖規
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務・I R担当 (氏名) 加藤 久和 TEL 03-5764-5214
 四半期報告書提出予定日 2023年7月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年2月期第1四半期の連結業績（2023年3月1日～2023年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年2月期第1四半期	123,879	8.6	9,225	△6.2	9,104	△10.3	5,665	△12.9
2023年2月期第1四半期	114,024	—	9,834	△5.3	10,148	△2.0	6,506	△14.2

(注) 包括利益2024年2月期第1四半期 6,177百万円 (9.2%) 2023年2月期第1四半期 5,655百万円 (△10.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年2月期第1四半期	41.41	—
2023年2月期第1四半期	44.06	—

(注) 「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を前第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2023年2月期第1四半期に係る営業収益については、当該会計基準等を適用した後の数値となっており、対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年2月期第1四半期	564,492	237,972	42.2
2023年2月期	515,955	243,353	47.2

(参考) 自己資本 2024年2月期第1四半期 237,972百万円 2023年2月期 243,353百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年2月期	—	20.00	—	20.00	40.00
2024年2月期	—	—	—	—	—
2024年2月期（予想）	—	20.00	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年2月期の連結業績予想（2023年3月1日～2024年2月29日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	257,500	7.8	19,400	2.3	19,600	2.3	12,300	1.4	87.86
通期	494,000	3.6	31,000	3.1	30,600	3.5	18,700	3.1	133.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年2月期1Q	149,500,000株	2023年2月期	157,000,000株
② 期末自己株式数	2024年2月期1Q	15,993,096株	2023年2月期	17,011,776株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年2月期1Q	136,827,470株	2023年2月期1Q	147,683,302株

(注) 自己株式数には、「役員報酬BIP信託口」、「株式付与ESOP信託口」及び「従業員持株ESOP信託口」の所有する当社株式が含まれております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想等の将来に関する記載は、当社が発表日現在において入手可能な情報に基づいており、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9
3. 補足情報	10
商品別売上情報	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスに起因する行動制限の解除による経済活動の正常化が進む一方で、ウクライナ情勢の長期化などによるエネルギー価格や原材料価格の高騰に加え、為替相場の変動など依然として先行きの不透明な状況が続いております。

小売業界におきましては、電気代や生活必需品などの物価上昇による生活防衛意識の高まりに加えて、人件費や物流コストの上昇など、厳しい経営環境が続いております。

そのような状況の中、当社は「新世代ホームセンター創造への挑戦～店舗の“再”活性化+事業領域の拡大～」を方針とする第3次中期経営計画（2023年度～2025年度）を始動させました。既存店改革を中心とした店舗戦略、ローコストオペレーションの更なる追求、独自の“BOPIS”スタイルの構築、プライベートブランド商品開発体制の深化、M&A推進による事業領域の拡大とともに、サステナブルな事業価値、株主価値拡大を追求し、2030年のビジョンである「生活快適化総合企業」の実現へ向け取り組んでおります。

当第1四半期連結累計期間においては、旅行など外出の増加、節約志向の高まりによる買い控えなど厳しい状況となりましたが、ホームレジャー・ペット部門では前年を上回り、好調に推移しました。DCMブランド商品につきましては、原材料価格の上昇と円安による仕入価格の上昇、物流コスト上昇などの影響を受けておりますが、環境に配慮した商品開発、節電や節約商品の新規展開、販促強化などに取り組んだ効果もあり、売上高構成比率を引き上げることができました。

当社グループの新規出店については6店舗、退店については4店舗を実施しました。これにより、当第1四半期連結会計期間末日現在の店舗数は677店舗となりました。

また、前第1四半期連結累計期間末日に完全子会社化したエクسプライズ㈱が、当第1四半期連結累計期間においては全期間にわたり営業収益の増加に寄与いたしました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の営業収益は1,238億7千9百万円（前年同期比108.6%）、営業利益は92億2千5百万円（前年同期比93.8%）、経常利益は91億4百万円（前年同期比89.7%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は56億6千5百万円（前年同期比87.1%）となりました。

(主要商品部門別の状況)

① 園芸部門

3月は気温が高く、散水用品や除草剤など園芸部門の立ち上がりは好調でしたが、ピークを迎える4月からゴールデンウィーク後半までは天候不順の影響を受けました。一方、防犯意識の高まりにより、防犯砂利やソーラーライトが好調でした。その結果、売上高は229億7千7百万円（前年同期比96.3%）となりました。

② ホームインプラーブメント部門

作業用品につきましては、法改正による安全帯の需要の反動を受けましたが、空調服などの作業衣料は好調に推移しました。DIY関連商品につきましては、プロ向けの商品は好調に推移しているものの、塗料や木材関連は低調でした。その結果、売上高は237億1千9百万円（前年同期比96.0%）となりました。

③ ホームレジャー・ペット部門

自転車につきましては仕入価格高騰の影響を受けましたが、自転車用ヘルメットが大幅に伸長しました。レジャー用品につきましては、行楽用品やバーベキュー用品が好調でした。ペット用品につきましては、犬猫フードを中心に全体的に好調でした。その結果、売上高は172億5千1百万円（前年同期比102.4%）となりました。

④ ハウスキーピング部門

ハウスキーピング部門全体では前年に届かなかったものの、ティッシュペーパーなどの紙関連商品は好調でした。また、コピー用紙など環境配慮型商品として開発したDCMブランド商品も好調に推移しました。その結果、売上高は231億3千2百万円（前年同期比94.7%）となりました。

⑤ ホームファニシング部門

電気代高騰などによる節約志向によって、ラグやクッションなどの冷感商品は好調に推移しましたが、新生活関連商品の伸び悩みや外出需要の増加など、ホームファニシング部門全体で前期を大きく下回りました。その結果、売上高は54億8千6百万円（前年同期比89.5%）となりました。

⑥ ホームエレクトロニクス部門

節約志向の高まりによって、エアコン室外機カバーなどの省エネ対応商品は好調に推移しましたが、ホームエレクトロニクス部門全体では低調でした。一方、防犯意識の高まりにより、セキュリティ用品やインターフォンが大幅に伸長いたしました。その結果、売上高は85億7千0百万円（前年同期比91.9%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産残高は、長期借入の実行による現金及び預金の増加やDCMブランドの増加に伴う商品の増加などから、資産合計は前連結会計年度末に比較して485億3千7百万円増加し、5,644億9千2百万円となりました。

負債残高は、長期借入の実行による借入金の増加や商品の増加に伴う買掛金の増加などから、負債合計は前連結会計年度末に比較して539億1千8百万円増加し、3,265億1千9百万円となりました。

純資産残高は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による増加の一方、配当金支払いや自己株式の取得による減少などから、純資産合計は前連結会計年度末に比較して53億8千1百万円減少し、2,379億7千2百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年2月期の連結業績予想につきましては、2023年4月11日の決算短信発表時に公表いたしました業績予想から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	55,665	88,256
売掛金	18,109	24,919
リース投資資産	1,177	1,035
商品	121,941	128,303
その他	17,498	21,728
貸倒引当金	△2	△3
流動資産合計	214,390	264,240
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	236,006	239,921
減価償却累計額	△145,377	△146,177
建物及び構築物(純額)	90,628	93,744
土地	82,410	82,436
リース資産	21,363	21,547
減価償却累計額	△9,012	△8,670
リース資産(純額)	12,351	12,876
建設仮勘定	3,030	280
その他	43,291	44,461
減価償却累計額	△36,025	△36,430
その他(純額)	7,266	8,031
有形固定資産合計	195,687	197,370
無形固定資産		
のれん	20,382	20,074
借地権	6,113	6,115
ソフトウェア	7,130	6,984
その他	24	20
無形固定資産合計	33,650	33,194
投資その他の資産		
投資有価証券	30,927	31,769
敷金及び保証金	36,282	34,240
繰延税金資産	3,225	1,969
長期前払費用	1,295	1,356
その他	550	405
貸倒引当金	△54	△54
投資その他の資産合計	72,226	69,687
固定資産合計	301,564	300,251
資産合計	515,955	564,492

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	24,155	30,462
電子記録債務	23,236	28,460
短期借入金	10,000	—
1年内返済予定の長期借入金	16,474	17,260
リース債務	1,836	879
未払法人税等	7,048	2,168
契約負債	4,687	5,175
賞与引当金	2,156	1,352
その他	13,233	16,818
流動負債合計	102,828	102,578
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	137,104	189,520
リース債務	12,953	14,440
繰延税金負債	350	350
再評価に係る繰延税金負債	167	167
役員株式給付引当金	151	166
株式給付引当金	142	187
資産除去債務	2,234	2,253
長期預り金	4,602	4,613
その他	2,065	2,240
固定負債合計	169,773	223,941
負債合計	272,601	326,519
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,973	19,973
資本剰余金	54,075	54,075
利益剰余金	185,378	179,528
自己株式	△18,619	△18,662
株主資本合計	240,808	234,914
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,450	4,995
繰延ヘッジ損益	51	18
土地再評価差額金	△1,955	△1,955
退職給付に係る調整累計額	△1	△1
その他の包括利益累計額合計	2,545	3,057
純資産合計	243,353	237,972
負債純資産合計	515,955	564,492

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年5月31日)
売上高	112,254	122,156
売上原価	72,603	80,887
売上総利益	39,651	41,269
営業収入		
不動産賃貸収入	1,769	1,722
営業総利益	41,420	42,992
販売費及び一般管理費	31,586	33,766
営業利益	9,834	9,225
営業外収益		
受取利息	27	24
受取配当金	61	68
為替差益	301	143
持分法による投資利益	361	187
その他	69	74
営業外収益合計	822	497
営業外費用		
支払利息	462	600
その他	45	18
営業外費用合計	508	619
経常利益	10,148	9,104
特別利益		
固定資産売却益	29	0
特別利益合計	29	0
特別損失		
固定資産除売却損	98	150
災害による損失	52	—
その他	7	3
特別損失合計	158	154
税金等調整前四半期純利益	10,019	8,950
法人税、住民税及び事業税	3,308	2,284
法人税等調整額	204	999
法人税等合計	3,512	3,284
四半期純利益	6,506	5,665
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,506	5,665

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年5月31日)
四半期純利益	6,506	5,665
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△636	415
繰延ヘッジ損益	△9	△32
持分法適用会社に対する持分相当額	△205	129
その他の包括利益合計	△851	512
四半期包括利益	5,655	6,177
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,655	6,177
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年4月11日開催の取締役会決議に基づき、2023年4月28日付で、自己株式7,500,000株の消却を実施しております。この結果当第1四半期連結累計期間において利益剰余金及び自己株式がそれぞれ8,648百万円減少しております。

また、同日開催の取締役会決議に基づき、幹部候補社員に対するインセンティブプラン交付の為の株式を、当第1四半期連結累計期間において市場より取得しております。この結果、当第1四半期連結累計期間において自己株式が2,578百万円増加しております。

さらに、2022年9月29日開催の取締役会決議並びに2023年4月11日開催の取締役会決議に基づき、当第1四半期連結累計期間において自己株式の取得を実施しております。この結果、当第1四半期連結累計期間において自己株式が5,986百万円増加しております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。なお、これによる四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2022年3月1日至2022年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結財務諸表計上額 (注)3
	ホームセンター事業	エクспライズ事業				
営業収益						
外部顧客への売上高	113,938	—	86	114,024	—	114,024
セグメント間の内部売上高又は振替高	60	—	5,599	5,659	△5,659	—
計	113,998	—	5,685	119,683	△5,659	114,024
セグメント利益	9,772	—	5,386	15,158	△5,324	9,834

(注)1. その他は、DCMホールディングス㈱及び㈱マイボフェローズにおける取引等です。

2. セグメント利益の調整額△5,324百万円は、セグメント間取引消去△5,233百万円、その他△91百万円です。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません

(のれんの金額の重要な変動)

2022年3月24日にエクспライズ㈱の株式を取得し連結の範囲に含めたことに伴い、当第1四半期連結累計期間においてのれんが20,865百万円増加しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2023年3月1日至2023年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結財務諸表計上額 (注)3
	ホームセンター事業	エクспライズ事業				
営業収益						
外部顧客への売上高	109,601	14,193	84	123,879	—	123,879
セグメント間の内部売上高又は振替高	59	27	17,409	17,496	△17,496	—
計	109,661	14,220	17,493	141,375	△17,496	123,879
セグメント利益	9,275	△23	17,204	26,457	△17,231	9,225

(注)1. その他は、DCMホールディングス㈱及び㈱マイボフェローズにおける取引等です。

2. セグメント利益の調整額△17,231百万円は、セグメント間取引消去△17,094百万円、のれん償却額△136百万円です。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません

3. 補足情報

商品別売上情報

(単位：百万円、%)

事業部門	前第1四半期 連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年5月31日)		当第1四半期 連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年5月31日)		(参考) 前連結会計年度 (自 2022年3月1日 至 2023年2月28日)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
ホームセンター事業						
園芸	23,859	21.3	22,977	18.8	66,112	14.1
ホームインプルーブメント	24,709	21.9	23,719	19.4	94,798	20.2
ホームレジャー・ペット	16,851	15.0	17,251	14.1	63,346	13.5
ハウスキーピング	24,436	21.8	23,132	19.0	96,082	20.5
ホームファニッシング	6,132	5.5	5,486	4.5	23,058	4.9
ホームエレクトロニクス	9,323	8.3	8,570	7.0	46,257	9.8
その他	3,521	3.1	3,307	2.7	15,473	3.3
商品供給高他	3,334	3.0	3,433	2.8	12,903	2.7
ホームセンター事業計	112,168	99.9	107,879	88.3	418,034	89.0
エクспライズ事業	—	—	14,193	11.6	51,423	10.9
その他の事業	86	0.1	84	0.1	324	0.1
合計	112,254	100.0	122,156	100.0	469,782	100.0

(注) 1. ホームセンター事業の部門別の主な取扱商品は、次のとおりであります。

部門	取扱商品
園芸	園芸用品、大型機械、農業・業務資材、屋外資材、植物他
ホームインプルーブメント	作業用品、金物、工具、塗料、補修、木材、建築資材他
ホームレジャー・ペット	カー用品、スポーツ、玩具、自転車、レジャー、ペット用品他
ハウスキーピング	日用消耗品、文具、ダイニング・キッチン、バス・トイレタリー、ヘルスケア・ビューティケア、食品他
ホームファニッシング	インテリア、寝具、家具収納他
ホームエレクトロニクス	家庭電器、冷暖房、電材・照明、AV情報機器、住宅設備、エクステリア他
その他	テナント植物、テナントペット、灯油、工事費、サービス料他